

## 第 2 回懇談会からの修正点等について

「第 2 回 J R 宇都宮駅西口周辺地区整備懇談会」に示した「J R 宇都宮駅西口地区整備基本構想(素案)」について、懇談会での意見等を踏まえ、下記のとおり修正等を行った。

## 【意見及び修正点等】

## 1 駅東西の位置付けの整理について

〔意見〕 ・ 西口と東口の構想の位置づけについて整理が必要

〔修正〕 → 宇都宮駅周辺地区については、都市拠点としての重要性を体系的に示すことが必要であることから、本市における都市拠点としての位置付けや交通の要衝としての役割を示したうえで西口・東口の基本的な位置づけを示すこととし、「基本構想策定の趣旨」において、体系的な図を記載（P 1， 3）【文言修正】

## 2 構想の方向性の提示について

〔意見〕 ・ 構想の方向性・コンセプトを明確に。

〔修正〕 → 基本構想が目指す基本理念について、市民等にわかりやすい言葉で端的に理解してもらう必要があることから、「まちづくりの目標」において、基本理念について記載（P 8）【新規追加】

## 3 地下の有効活用に係る視点の追加について

〔意見〕 ・ 地下の有効活用についても検討が必要

〔修正〕 → 駅前については、土地の高度利用・有効活用の観点から、「土地の高度利用などによる高次な都市機能の集積」において、事業性を踏まえた地下の有効活用の検討などについて記載（P 9）【文言修正】

## 4 防災・減災に係る視点の追加について

〔意見〕 ・ 防災機能の拡充といった点も基本方針で触れる必要があるのでは

〔修正〕 → 駅前地区については、発災時における帰宅困難者や駅前滞留者による混乱の防止、抑制など、防災・減災対策が必要であることから、「災害に強く環境にやさしいまちづくり」において、地域防災計画等を踏まえた取組等について記載（P 10）【新規記載】

## 5 環境に係る視点の追加について

〔意見〕 ・ 環境面への配慮といった内容も盛り込むべき

〔修正〕 → 地球規模での環境問題意識への高まりなどを踏まえ、本地区のまちづくりについても環境への配慮の視点を盛り込むことが必要なことから、「災害に強く環境にやさしいまちづくり」において、低炭素・循環型の社会に対応した設備整備などについて記載（P 10）【新規記載】

## 6 宇都宮らしい景観整備などについて

〔意見〕 ・ 駅前に流れる田川や宇都宮特有の資源である大谷石等の活用を盛り込むべき

〔修正〕 → 県都の玄関口にふさわしい個性と魅力を備えた都市景観の検討が必要であることから、「風格と魅力のある都市景観の形成」において、旧篠原家住宅等や田川、大谷石などの歴史資源、地域資源を活かした景観整備などについて記載（P 1 2）【文言修正】

## 7 その他

### (1) 基幹となる道路の補足説明

〔意見〕 ・ 基幹となる道路について、機能面から、その必要性を示してほしい。

〔対応〕 → バスやタクシー、一般車両の錯綜改善や、沿道施設利用交通と駅前広場利用交通の分離など、基幹となる道路を整備することによる効果・必要性について提示（パワーポイント参照）

### (2) 将来のイメージ図の例示

〔意見〕 ・ 基本構想の議論を行うにあたり、参考として将来イメージを図などで示してほしい。

〔対応〕 → 基本構想による将来イメージの一例について提示（パワーポイント参照）

## ※ 基本構想の実現に向けて

今後、基本構想の実現に向け、地区整備など円滑かつ着実にを行うにあたって、留意点として関連事業との整合性や段階的な整備の検討、地元権利者の合意形成や関係機関等との連携・調整について記載（P 1 5）【新規記載】